



# かなぎ



## ちょっと緊張しながら入場

4月7日、金木小学校体育館で行われた入学式に入場する新入学児童たち。

町の花



さくら

町の鳥



ひばり

町の木



ひば

平成16年度一般会計、特別会計の各当初予算が第187回金木町議会定例会（3月議会）で議決されました。

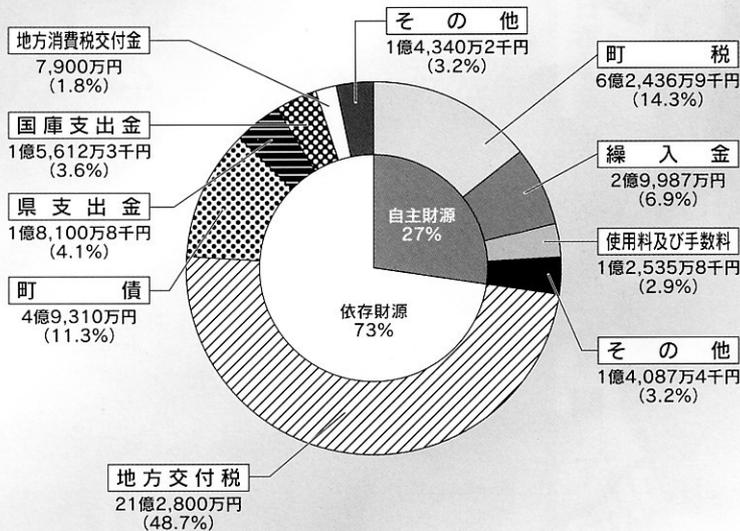
平成16年度一般会計予算は、歳入面において、近年の景気低迷と国の厳しい財政状況を反映して町民税、各交付金及び国県支出金の減額が見込まれ、また、一般財源の大半を占める地方交付税においては段階補正及び単位費用の見直しにより、前年度当初予算に対し1億6,200万円の減額、普通交付税より振替えられた臨時財政対策債1億1,600万円の大幅な減額となりました。

歳出面においては、国に施策に呼応した一連の経済対策や観光施設、福祉施設の整備などのために借り入れた地方債の元利償還金が増加、また、平成7年度及び8年度に借り入れた減税補てん債の一括返済などにより財政の硬直化を加速させています。

こういった厳しい財政状況のもと、当初予算編成に当っては、財政の健全性を確保しつつ地域住民対しての行政サービスの向上を図ることを第一義に、経常的経費の節減や行政の各分野を通じた事務事業の見直しを行うことにより、限られた財源の有効活用に努めたところ、予算規模は歳入歳出それぞれ43億7,100万4,000円となり、前年度当初予算に対して1億8,889万6,000円、4.1%の減となりました。

## 一般会計歳入の内訳

### 【財源別】



### 【町税の内訳】

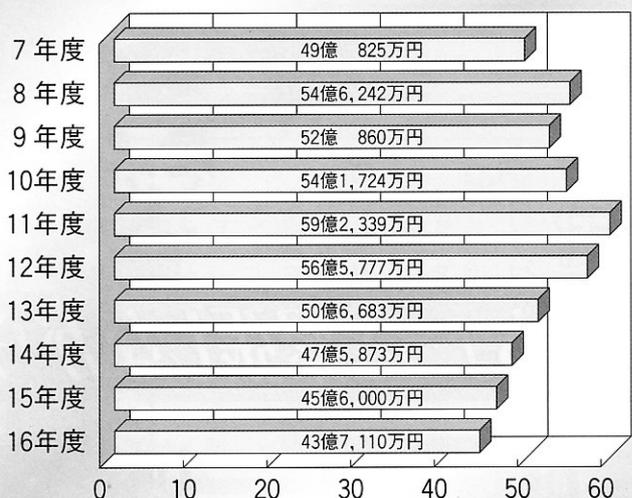
区分	金額 (単位：千円)	町民1人当たりでは (単位：円)
町民税	193,214	16,535
固定資産税	324,611	27,780
軽自動車税	21,229	1,817
町たばこ税	85,315	7,301
計	624,369	53,433

※1人当たりの金額は、2月末現在の町の人口11,685人で計算したものです。

## 今年度の主要施策

- ◎ 地方バス路線維持対策事業 1、092万1、000円
- ◎ 知的障害者支援事業 1億0、029万7、000円
- ◎ 生活支援ハウス運営事業 534万9、000円
- ◎ 在宅介護支援センター運営事業 713万9、000円
- ◎ あおもり施設農業拡大対策事業 847万8、000円
- ◎ あおもり冬の農業施設整備対策事業 312万2、000円
- ◎ 中山間地域等直接支払制度推進事業 000円

## 過去10年間の当初予算の推移



# 平成16年度 当初予算決まる

財政の健全性を確保し行政サービスの向上のために

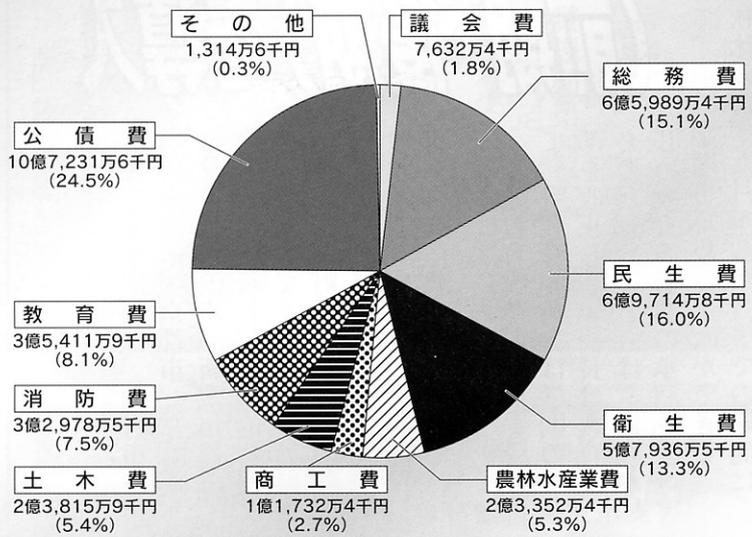
一般会計  
歳入歳出

# 43億7,110万円

(前年度比4.1%の減)

## 一般会計歳出の内訳

【目的別内訳】



【性質別内訳】

(単位：千円、%)

区分	金額	比率
義務的経費	人件費	1,315,414 30.1
	扶助費	249,200 5.7
	公債費	1,072,316 24.5
投資的経費	普通建設事業	167,849 3.8
	災害復旧事業	10 0.0
その他の経費	物件費	414,554 9.5
	維持修繕費	68,429 1.6
	補助費等	735,430 16.8
	貸付金 投資金 出資金	24,590 0.6
	積立金	55 0.0
	繰出金	318,317 7.3
	予備費	4,940 0.1
	計	4,371,104 100.0

## 特別会計予算

特別会計名	当初予算	前年度当初予算	増減率
介護保険	8億4,984万4千円	8億6,689万1千円	▲2.0%
国民健康保健	13億1,347万3千円	13億6,907万5千円	▲4.1%
老人保健	8億5,858万3千円	11億3,359万9千円	▲24.3%
農業集落排水事業	2,861万2千円	1億4,236万2千円	▲79.9%
水道事業	2億5,401万7千円	2億8,352万9千円	▲10.4%

- ◎ 外国青年招致事業 463万1,000円
- ◎ 小中学校コンピュータ運用事業 1,493万9,000円
- ◎ 消防ポンプ自動車購入事業 1,732万5,000円
- ◎ 蒔田1線整備事業 7,700万円
- ◎ 道路維持改良事業 1,385万7,000円
- ◎ 県営ふるさと農道緊急整備事業 1,250万円
- ◎ 2,172万1,000円

# 授業時数の確保と学力の向上のために

本年度から、金木小学校、嘉瀬小学校・喜良市小学校が「二学期制」を導入しました。二学期制とは、原則として、一年を四月から九月までの「前期」と、十月から三月までの「後期」に分け、夏休みと冬休みは学期の中に組み入れられます。そして、前期と後期の間に七日以内の「秋休み」を設ける学期制度です。「秋休み」の日は、定められている年間休業日以内で調整されます。

この二学期制への移行は、学校五日制・新指導要領の導入などを契機に、減少した授業時数の確保と授業日数のバランスをとり、「学習意欲の向上」「確かな学力の定着」、子どもに時間的・精神的にも「ゆとりのある教育活動」の中で「生きる力」を育成することが基本的な考え方です。

例を挙げますと、平成十五年度の町内K小学校の授業日数は、一学期が七十三日、二学期が八十日、三学期が五十一日でした。一・二学期と三学期とくらべますと、授業日数と評価のための期間の差がかなり大きいことが分かります。二学期制にした場合、前期と後期の授業日数が概ね百日ずつになりますのでバランスがとれることになり

## 二学期制 (前期・後期)を導入

この二学期制は、仙台市を始め金沢市、京都市、宮崎市、千葉市、横浜市、新潟市などで導入が図られ、全国的に浸透拡大されてきています。県内では八市町村で、十六の学校が実施しています。西北では、木造町向陽小、深浦町深浦小・風合瀬小が実施しています。

この教育改革の一つを受けて、町教育委員会は学則の一部を改正し、「校長は教育上必要と認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けて、別の学期を定めることができる。秋休みは、九月から十月までの期間において七日以内で校長が定める日」としました。

また、保護者へ納得のいく説明、ご理解を得ることを前提条件にしています。また、二学期制のメリット・デメリットなどが実施校から挙げられていますので、いかにして、デメリットの部分を少なくするかが課題になっています。今後は、小・中学校一貫した導入体制がとれるよう、今年度の実践データーをもとに検討してまいりますので、二学期制の導入に対してのご理解をお願い致します。

### 町内各小学校の学期日程

#### □二学期制実施(平成16年度)

学校名	前 期		秋 休 み	後 期		春 休 み
		夏 休 み			冬 休 み	
金 木 小 学 校	4月7日	7月24日	9月30日	10月7日	12月25日	3月26日
	9月29日	8月22日	10月6日	3月25日	1月16日	~
嘉 瀬 小 学 校	4月7日	7月24日	10月2日	10月8日	12月23日	3月26日
	10月1日	8月22日	10月7日	3月25日	1月16日	~
喜 良 市 小 学 校	4月7日	7月22日	10月1日	10月6日	12月23日	3月26日
	9月30日	8月19日	10月5日	3月25日	1月16日	~

#### □従来通りの三学期制実施

学校名	1 学 期	夏 休 み	2 学 期	冬 休 み	3 学 期	春 休 み
川 倉 小 学 校	4月7日	7月22日	8月24日	12月23日	1月17日	3月26日
	7月21日	8月23日	12月22日	1月16日	3月25日	~

# 平成15年度 金木町褒賞



個人10人・2団体受賞

各分野で活躍し町発展に貢献した方々を表彰する平成15年度金木町褒賞授与式が3月26日、役場大会議室で行われ今年度は個人10人と2団体が表彰されました。

授与式では鳴海町長が「今後とも豊富な識見と尊い経験を生かし、なお一層のご尽力を賜りますようお願いいたします」と式辞。この後、功労者一人ひとりに褒賞状と記念品が贈られ、受賞者を代表して金本敬夫さんが「金木町発展のため微力ながら今後とも精進を重ね皆様のご期待に沿うよう懸命の努力を重ねる決意を新たにいたしております」と謝辞を述べました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

◆自治功労褒賞

●褒賞規則第三条第二号

三海 春樹

(町議会議員功労)

桑田 茂

(町議会議員功労)

●褒賞規則第三条第五号

竹内 義道

(行政協力委員功労)

◆特別功労褒賞

●褒賞規則第四条第一号

今 誠康

(体育振興功労)

金本 敬夫

(体育振興功労)

嘉瀬 スキークラブ

(体育振興功労)

●褒賞規則第四条第三号

桑田 定繁

(交通安全功労)

藤元 和夫

(産業振興功労)

木村 治

(産業振興功労)

土岐 忠義

(産業振興功労)

●褒賞規則第四条第四号

金木町立嘉瀬小学校

(福祉功労)

●褒賞規則第四条第五号

須崎 悠悦

(消防功労)

駅と交流プラザの憩いに

ヒバのベンチ寄贈  
(津軽森林監督署金木支署)



金木駅と交流プラザを利用する町民や観光客のためにと、同施設に風景写真の展示、津軽風と金木産ヒバのベンチが寄贈されました。

写真展示はフォトグループあすなる会(会長=大橋浩)が、また寄贈は金木津軽風の会(会長=福長勝義)と津軽森林監督署金木支署(署長=岡崎孝次)によるもので、季節ごとに差替える写真は駅待合室壁と2階研修ホールに展示、津軽風は交流プラザの階段壁に、ヒバのベンチは駅待合室に設置され、訪れた人の目の保養と憩いを提供しています。



津軽風寄贈  
金木津軽風の会



風景写真展示  
(フォトグループあすなる会)